

令和7年度

3月のおれんじサロン ひと・まち

～若年性認知症本人交流会～

令和8年3月11日（水）

＼**これまでを振り返って...**／

今日のおれんじサロンは、いつものメンバー以外にも、広島市保健福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課の担当者や、4月に開催する認知症啓発イベントでコラボする株式会社 kittoi さまのご参加もあって、いろんな話題について意見交換しました。

その中でも、今回、おれんじサロンに視察に来られた広島市の担当者からの「次も参加したいと思えるカフェにするには、どうしたらいいですか？」の質問があり、現在のおれんじサロンに至るまでの約10年間を振り返りました。

振り返ってみると...

令和2年度までのおれんじサロンは、「支えられる人」「支える人」の境界がありましたが、令和3年度から、境界をなくし、誰もが水平な関係で、当事者中心のサロンに運営を変えました。

変えてみて見えてきたことは、“その人自身”と心の思いです。

今のおれんじサロンは、本人も家族もサポーターも専門職も、みんなが仲間であり水平な関係性です。

＊ THANK YOU ！
ここまで、
10年間かかり
ました！

おれんじサロン ひと・まち

みなさま、
これからも
よろしくお願いします！



次月は、令和8年4月22日(水) 午後2時～開催
参加希望の方は下記までご連絡ください



【お問い合わせ】 京都市長寿すこやかセンター 電話(075)354-8741

【Facebook ページの QR コード】